

Pro's Eyes ~ 今野哲郎プロによるワンポイントアドバイス

プロフォトグラファー今野哲郎氏が、お寄せいただいた写真作品を観て、長年培ったノウハウを活かしてワンポイントアドバイスいたします。これからのフォトライフにお役立てください。



テーマA (自由作品)

初冠雪の樽前山 [千歳市 支笏湖 2015年10月]

● 正瑞 和弘 (札幌市豊平区)

湖畔からの樽前はあいにくの雪。

待つこと一時間、やっとドームが見えた。

✦ プロからのアドバイス

一時間待たれて撮影されたとのことですが、その甲斐がありました。迫力満点です。見た瞬間ドキッとしました。望遠レンズを使ったと思いますが、遠近感が微妙に調整され、水面、山麓、ドームの位置のバランスが良くなりました。自然が織りなすダイナミックな情景をしっかりとらえました。

テーマB (自由作品)

空を泳ぐ [佐呂間町 2017年8月]

● 滝口 和宏 (北見市)

サロマ湖展望台からの180度大パノラマは壮観です。

✦ プロからのアドバイス

作品タイトルが「空を泳ぐ」で、あたかも鳥が高い空から見たイメージを写真にしたような感覚におそわれます。目一杯ワイドに青空を大きく広く撮ったところが作品に壮観さが出たと思います。この作品を見た方は自分が鳥になったような錯覚になると思います。狙いがぴったりはまりました。



テーマC (旬華集灯)

高原の秋麗 [寿都町 2017年9月]

● 水上 柳子 (黒松内町)

日々、駆け足で秋が近づいてきました。

✦ プロからのアドバイス

スキを真っ正面から太陽をバックに、思い切って撮りました。逆光ですが露出のバランスが良く、太陽と水面に薄が綺麗に現れております。特に薄の葉に太陽光線があたり、黄金色の輝いてる所はまさしく「秋麗」です。



テーマD

(北海道を伝えるII~北海道150年の足跡)

アンティーク・バーバー [札幌市 狸小路 2017年4月]

● 日野 透 (札幌市中央区)

「北海道を伝える」というテーマを与えられた時、名所旧跡ではなく、脈々と今も息づく人々の生活感が横溢した場所を撮りたいと思った。

北海道という土地から醸し出される人々の生活臭。これは狸小路商店街を撮影しに出かけた際、偶然見つけた古色蒼然とした理髪店。ディスプレイがまたかっこいい!

✦ プロからのアドバイス

日々の生活の一シーンを「切り取った」作品です。スマホを操作しながら髪を切ってもらっている情景は、現代の生活感が表されていると思います。単に調髪してもらった理髪店ではなく雰囲気も調髪代に入っているようです。理髪師と客をシルエットにしてレトロ感が増しました。

テーマE (PHOTO STORIES)

跡 [札幌市 定山溪 2016年11月] ● 松澤 文夫 (江別市)

定山溪温泉のホテルの窓から見た廃屋は、華やかし頃の表舞台を想わせました。しかし、16時間後の様子は一変し、余りの変わり様に驚き、哀れさを感じました。

✦ プロからのアドバイス

ホテルの窓から何気なく見た「廃屋」に写欲を感じて撮影されたとのことですが、初めの情景は無惨さを感じてしまいます。しかし16時間後、同位置から撮られた情景は、新雪がその無惨さを覆い隠して、一服の墨絵のように仕上がりました。廻りの事物を常に写真目線で観察される感覚が生んだ作品です。



①



②

プロフォトグラファー今野哲郎氏があなたの作品にアドバイスいたします。

ご希望の方はP68の作品応募用紙のアドバイス希望欄にチェックを入れてご応募ください。抽選で数点の作品に対して今野哲郎プロがアドバイスいたします。但しおひとり様1作品のみの受付となります。予めご了承ください。